

◆◆◆肉まんのへそ◆◆◆

■肉まんの「おへそ」の話です。

肉まんやあんまんを製造しているある食品工場。

ある日のこと、社長が「手作業では効率が悪い。機械化をすすめる。

フルオートメーションで肉まん、あんまんをつくる機械を開発せよ」と指示します。

■機械の開発スタート。順調でしたが最後につまづきます。

肉まんのへそのかたちがどうしても機械では成形できないのです。

社長は叱咤激励。

社員は必死でとりくみ、時間と費用がずいぶんかかりましたが

ついにへそまで成形できる機械が完成！

社長は大喜び。社内も喜びと安堵の空気に包まれていました。

ところが。



■「ところでこの肉まんのへそって、何のためにあるんですかね…」

ある社員がボソッとつぶやいたその言葉に社内は静まりかえります。

そういえばこの形、当たり前のように何となくみていたけど

何のためなのか。だれも答えることができません。

よくよく調べてみると目的がようやく判明。



あんまんと区別するため

だったのです。

ならばへそを成形しなくても、区別の方法はいくらでもあります。

あんなに時間とお金をかけてへそを成形する機械をつくったのは何だったのでしょーね…というお話です。

■今、南風小の先生方は前期後半、そして後期の取組に

向けてさまざまな準備をすすめています。

それぞれの取組について、「何のために」

「子どもにどんな力をつけるために」という目的を

はっきりさせながら。子どもたちの笑顔や真剣な表情を想像しながら知恵と汗をしばりあっています。

